
中心市街地活性化基本計画

平成 25 年度中間フォローアップ報告

平成 26 年 8 月

内閣官房地域活性化統合事務局

内閣府地域活性化推進室

目 次

- I. 中心市街地活性化基本計画 中間フォローアップの概要 …… 1 ページ
- II. 目標指標分野別分析結果の概要 …… 2 ページ
 - (1)集計結果
 - (2)取組の進捗状況
 - (3)目標達成見通しの状況
 - (4)基準値からの改善状況及び目標達成状況
- III. 中心市街地活性化テーマ別分析結果の概要 …… 7 ページ
 - (1)集計結果
 - (2)取組の進捗状況
 - (3)目標達成見通しの状況
 - (4)基準値からの改善状況及び目標達成状況
- IV. 具体的な取組みの状況（事例紹介） …… 10 ページ
- V. 取組の進捗状況及び目標達成見通しに関する各市からの報告 …… 12 ページ

I. 中心市街地活性化基本計画 中間フォローアップの概要

中間フォローアップについて

- 認定を受けた基本計画では、各市町村が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。
- 各目標指標は、計画期間中に各市町村が自ら時期を定めて取組（事業等）の進捗状況及び目標達成の見通し等を自己評価（中間フォローアップ）することとしている。
- 中間フォローアップによって明らかとなった取組の進捗状況、目標達成の見通し、基準値からの改善状況等を参考に、必要と認められる場合には、各市町村は速やかに基本計画の見直しを行う。

平成 25 年度中間フォローアップ対象計画

38 市 38 計画 103 指標※（詳細は P 12～15 に掲載）

※平成 25 年度中間フォローアップ対象計画では全部で 110 の指標が設定されているが、そのうち 7 指標については、平成 26 年 3 月末時点のデータのとりまとめが完了していない等の理由により、翌年度以降にフォローアップを実施する予定である。
 ※平成 26 年 7 月末時点で、119 市 155 計画が内閣総理大臣の認定を受けている。

【参考：平成 24 年度】32 市 33 計画 85 指標

取組の進捗状況と目標達成の見通しに関する集計結果

- フォローアップ対象の全 103 指標を下記の分類により集計を行った。

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

| | 目標達成可能と見込まれる | 目標達成可能と見込まれない |
|---------------|--|--|
| 取組進捗 順調 | ① <u>61 指標 (59%)</u> 〔平成 24 年度：36 指標 (42%)〕 | ② <u>7 指標 (7%)</u> 〔平成 24 年度：11 指標 (13%)〕 |
| 取組進捗 順調でない | ③ <u>29 指標 (28%)</u> 〔平成 24 年度：23 指標 (27%)〕 | ④ <u>6 指標 (6%)</u> 〔平成 24 年度：15 指標 (18%)〕 |

II. 目標指標分野別分析結果の概要

各市がフォローアップを行った目標指標を7分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成の見通し、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

目標指標分野別集計結果

○ 各市がフォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗状況及び目標達成の見通しについて、以下のA～Gの7つに分類した上で集計を行った。

| 見通し | 全体 | A 通行量 | B 居住人口 等 | C 販売額等 | D 空き店舗 等 | E 施設入込 数等 | F 公共交通 機関利用 | G その他 |
|-----|-----|----------|----------------|-----------|----------------|-----------------|-------------------|----------|
| ① | 61 | 20 | 15 | 0 | 7 | 14 | 4 | 1 |
| ② | 7 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| ③ | 29 | 19 | 1 | 1 | 3 | 4 | 0 | 1 |
| ④ | 6 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 103 | 43 | 23 | 1 | 10 | 19 | 5 | 2 |

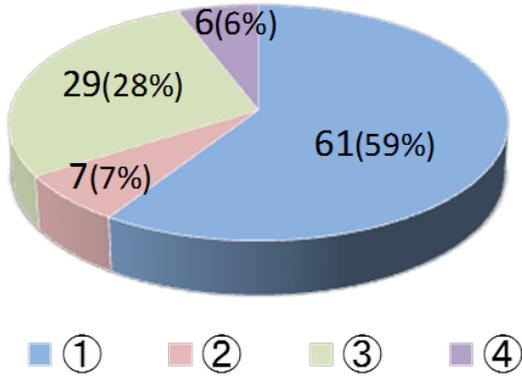
<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

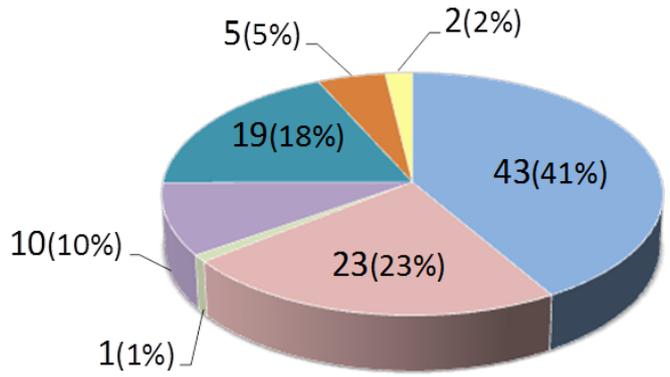
<目標指標分野の分類基準と主な取組例>

| 目標指標分類 | 主な目標指標 | 主な取組例 |
|------------|--|---|
| A 通行量 | 歩行者・自転車通行量 等 | 公共交通整備、駐輪場整備、歩行環境整備、複合施設整備、文化交流施設整備、商業施設整備、イベント開催 等 |
| B 居住人口等 | 居住人口、年間社会人口動態 等 | 居住環境整備（土地区画整理、集合住宅整備等）、住宅改善支援、家賃補助、託児施設・高齢者福祉施設整備 等 |
| C 販売額等 | 小売業年間商品販売額 | 集客拠点整備、イベント開催 等 |
| D 空き店舗等 | 空き店舗率、空き店舗数、営業店舗数、新規出店数 等 | テナントミックス、空き店舗情報の公開・情報発信拠点の整備、新規出店・起業支援 等 |
| E 施設入込数等 | 観光施設入込客数、文化施設・都市福利施設の利用者数 等 | 複合施設整備、広場・駐車場整備、施設運営の民間委託、観光マップ・ルート整備、イベント開催 等 |
| F 公共交通機関利用 | 路面電車乗降人数、循環バス・乗合タクシー・公共レンタサイクル利用回数 | 交通体系整備（停留所設置、ダイヤ・ルート）、定期券等活用、自動車利用推進、ICカード等の活用 等 |
| G その他 | 上記A～F以外の目標指標として、平成25年度は、「従業者数」「まちなか滞留時間」の2指標がフォローアップの対象となっている。これらの目標指標に対して、地域企業の移転・整備事業や商業施設・複合施設の整備等の取組が行われている。 | |

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類別指標数＞



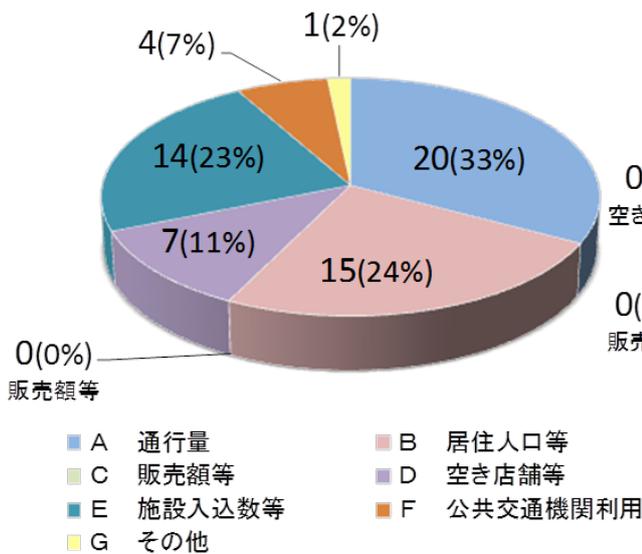
＜目標指標分野別の指標数＞



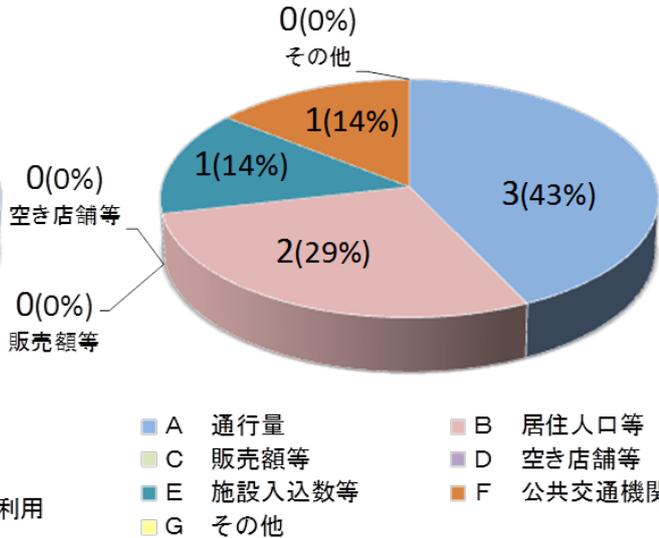
- A 通行量
- B 居住人口等
- C 販売額等
- D 空き店舗等
- E 施設入込数等
- F 公共交通機関利用
- G その他

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

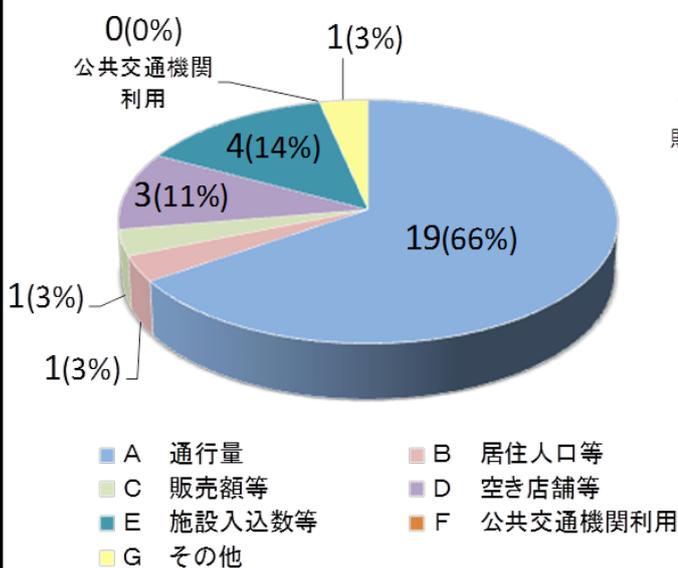
＜分類①（全61指標）の内訳＞



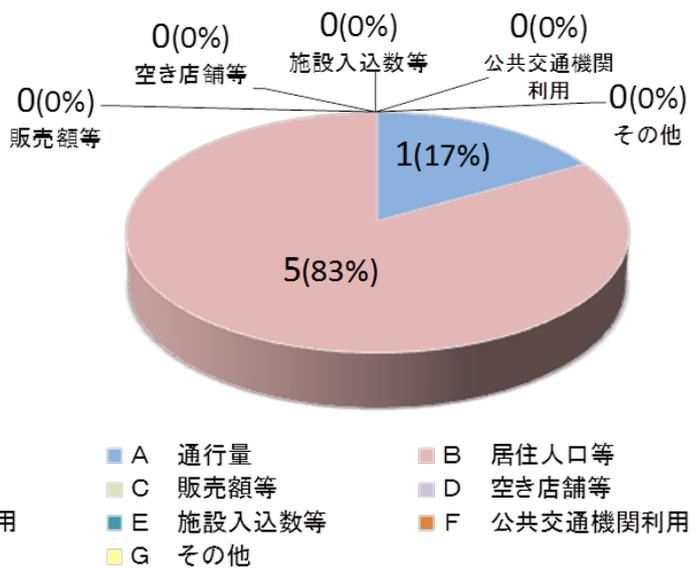
＜分類②（全7指標）の内訳＞



＜分類③（全29指標）の内訳＞



＜分類④（全6指標）の内訳＞



(2) 取組の進捗状況

- 取組（事業等）の進捗が順調である^(注1) 目標指標は全体の66%である。
(平成24年度55%)
- 「居住人口等」、「空き店舗等」、「施設入込数等」、「公共交通機関利用^(注2)」に関する目標指標は、取組の進捗が順調である指標の割合（取組順調率）が全体平均よりも高い^(注3)。
- 一方で、「通行量」に関する目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い^(注3)。

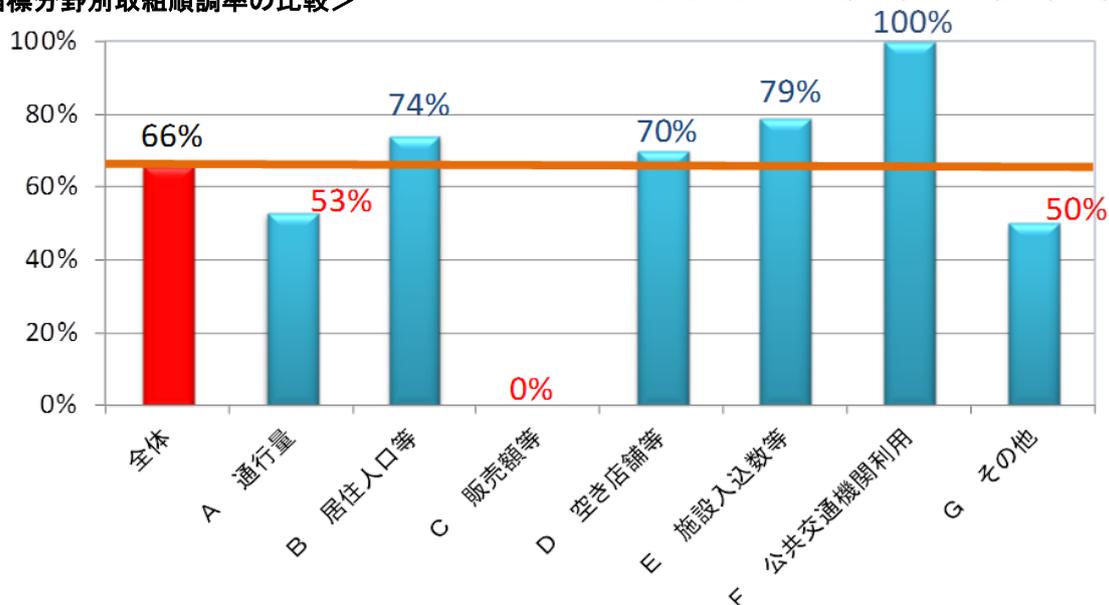
取組の進捗状況に関する分析結果

<各目標指標分野の①及び②の割合>

| 見通し | 全体 | A 通行量 | B 居住人口 等 | C 販売額等 | D 空き店舗 等 | E 施設入込 数等 | F 公共交通 機関利用 | G その他 |
|-------|-----|----------|----------------|-----------|----------------|-----------------|-------------------|----------|
| ①+② | 68 | 23 | 17 | 0 | 7 | 15 | 5 | 1 |
| ③+④ | 35 | 20 | 6 | 1 | 3 | 4 | 0 | 1 |
| 合計 | 103 | 43 | 23 | 1 | 10 | 19 | 5 | 2 |
| 取組順調率 | 66% | 53% | 74% | 0% | 70% | 79% | 100% | 50% |

<目標指標分野別取組順調率の比較>

$$\text{取組順調率} = \frac{①+②}{①+②+③+④}$$



- (注1) 取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類（P1参照）のうち、進捗が順調であるものは①と②、進捗が順調でないものは③と④が、それぞれ相当する。
- (注2) 「公共交通機関利用」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。
- (注3) 全目標指標のうち①又は②が選択された割合（取組順調率）が66%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(3) 目標達成見通しの状況

- 目標達成可能と見込んでいる^(注1) 目標指標は全体の87%である。
(平成24年度69%)
- 「通行量」、「空き店舗等」、「施設入込数等」に関する目標指標は、目標達成可能と見込んでいる指標の割合(目達見込率)が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「居住人口等」、「公共交通機関利用^(注3)」に関する目標指標の目達見込率は、全体平均よりも低い^(注2)。

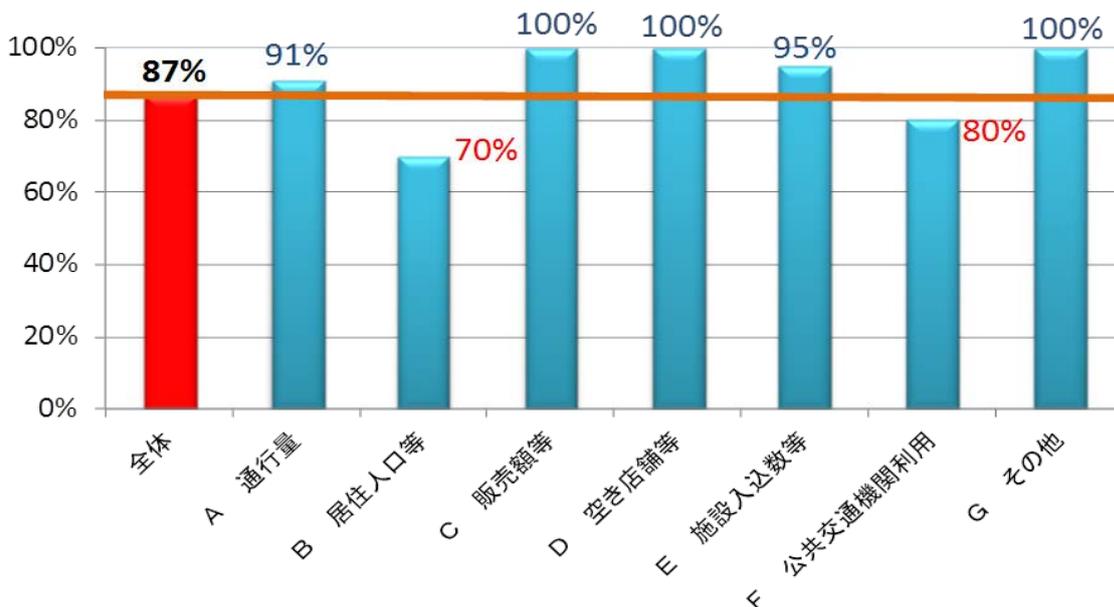
目標達成見通しの状況に関する分析結果

<各目標指標分野の①及び③の割合>

| 見通し | 全体 | A 通行量 | B 居住人口等 | C 販売額等 | D 空き店舗等 | E 施設入込数等 | F 公共交通機関利用 | G その他 |
|-------|-----|----------|------------|-----------|------------|-------------|---------------|----------|
| ①+③ | 90 | 39 | 16 | 1 | 10 | 18 | 4 | 2 |
| ②+④ | 13 | 4 | 7 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 合計 | 103 | 43 | 23 | 1 | 10 | 19 | 5 | 2 |
| 目達見込率 | 87% | 91% | 70% | 100% | 100% | 95% | 80% | 100% |

$$\text{目達見込率} = (\text{①} + \text{③}) / (\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④})$$

<目標指標分野別目達見込率の比較>



- (注1) 取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類(P1参照)のうち、目標達成可能と見込まれているものは①と③、目標達成可能と見込まれず、今後対策を必要としているものは②と④が、それぞれ相当する。
- (注2) 全目標指標のうち①又は③が選択された割合(目達見込率)が87%であったため、これと比較して数値が大きい(小さい)場合には、「目達見込率が全体平均よりも高い(低い)」としている。
- (注3) 「公共交通機関利用」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況

- 現況（実績値）が基本計画策定時の状況（基準値）から改善している目標指標は全体の59%である。（平成24年度58%）
- 既に目標値を達成している目標指標は全体の29%である。
（平成24年度29%）
- 「空き店舗等」、「施設入込数等」、「公共交通機関利用^(注1)」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「通行量」、「居住人口等」に関する目標指標は、基準値改善率が全体平均よりも低い^(注2)。

基準値からの改善状況及び目標達成状況に関する分析結果

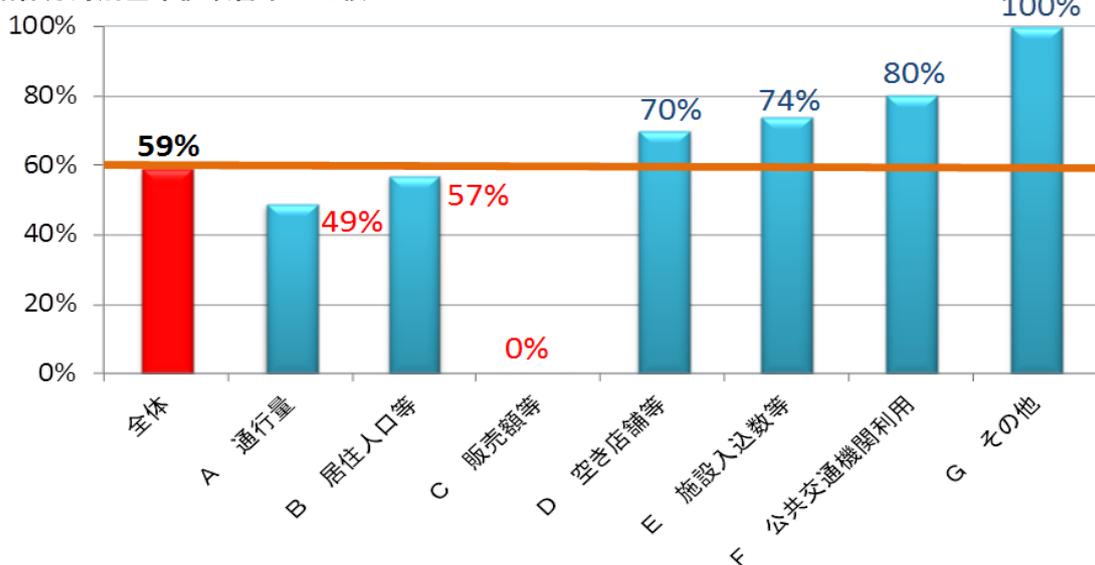
<各目標指標分野の改善状況及び目標達成状況>

| 改善状況 | 全体 | A 通行量 | B 居住人口等 | C 販売額等 | D 空き店舗等 | E 施設入込数等 | F 公共交通機関利用 | G その他 |
|-----------|-----|----------|------------|-----------|------------|-------------|---------------|----------|
| 基準値より改善 | 61 | 21 | 13 | 0 | 7 | 14 | 4 | 2 |
| （うち、目標達成） | 30 | 13 | 6 | 0 | 3 | 7 | 1 | 0 |
| 基準値より悪化 | 42 | 22 | 10 | 1 | 3 | 5 | 1 | 0 |
| 合計 | 103 | 43 | 23 | 1 | 10 | 19 | 5 | 2 |
| 基準値改善率 | 59% | 49% | 57% | 0% | 70% | 74% | 80% | 100% |
| 目標達成率 | 29% | 30% | 26% | 0% | 30% | 37% | 20% | 0% |

基準値改善率＝基準値より改善 / (基準値より改善＋基準値より悪化)

目標達成率＝基準値より改善した指標のうち目標値を上回るもの / (基準値より改善＋基準値より悪化)

<目標指標分野別基準値改善率の比較>



(注1) 「公共交通機関利用」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(注2) 全目標指標のうち、実績値が基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）が59%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

Ⅲ. 中心市街地活性化テーマ別分析結果の概要

- 例えば「歩行者・自転車通行量」の目標指標においては、調査日が平日と休日によって、通行する人（前者は地域住民、後者は買い物客・観光客等の来街者が中心）や目標達成に向けた取組が異なる。
- そこで、フォローアップ対象の目標指標を中心市街地活性化のテーマ（居住者の利便性向上、来街者の呼び込み、商業振興）別に分類し、取組の進捗状況、目標達成の見通し、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

テーマ別集計結果

- 各市がフォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗状況及び目標達成の見通しについて、以下のa～cの3つに分類した上で集計を行った。

| 見通し | 全体 | a 居住者の利便性 向上による活性化 | b 来街者の呼び込 みによる活性化 | c 商業振興による 活性化 |
|-----|-----|--------------------------|-------------------------|---------------------|
| ① | 61 | 23 | 31 | 7 |
| ② | 7 | 2 | 5 | 0 |
| ③ | 29 | 10 | 14 | 5 |
| ④ | 6 | 5 | 1 | 0 |
| 合計 | 103 | 40 | 51 | 12 |

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

<目標指標の分類基準と主な取組例>

| 目標指標分類 | 主な目標指標 | 主な取組例 |
|-------------------|---|---|
| a 居住者の利便性向上による活性化 | 歩行者・自転車通行量(平日)*、居住人口、福祉・文化・交流施設等の利用者数 等 | 公共交通整備、駐輪場整備、歩行環境整備、文化交流施設整備、居住環境整備（土地区画整理、集合住宅整備等）、商業施設整備、家賃補助、イベント開催 等 |
| b 来街者の呼び込みによる活性化 | 歩行者・自転車通行量（休日）*、観光施設入込客数、宿泊客数、鉄道駅乗降客数 等 | 観光マップ・ルート整備、歩行環境整備、複合施設整備、広場・駐車場整備、イベント開催、交通体系整備（停留所設置、ダイヤ・ルート）、ICカード等の活用 等 |
| c 商業振興による活性化 | 小売業年間商品販売額、空き店舗率、営業店舗数、新規出店数 等 | 集客拠点整備、駐車場整備、イベント開催、新規出店・起業支援、テナントミックス、空き店舗情報の公開・情報発信拠点の整備 等 |

*「歩行者・自転車通行量」の指標のうち、平日・休日平均又は平日・休日合計で数値を把握しているものについては、休日のほうが通行量は落ち込んでいる傾向があり、対策を必要としている市町村が多いことから、「b」に分類した。

(2) 取組の進捗状況

- 「来街者の呼び込みによる活性化」のテーマに係る目標指標は、取組の進捗が順調である^(注1) 指標の割合（取組順調率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「居住者の利便性向上による活性化」及び「商業振興による活性化」のテーマに係る目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い^(注2)。

取組の進捗状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマの①及び②の割合>

| 見通し | 全体 | a 居住者の利便性 向上による活性化 | b 来街者の呼び込 みによる活性化 | c 商業振興による 活性化 |
|-------|-----|--------------------------|-------------------------|---------------------|
| ①+② | 68 | 25 | 36 | 7 |
| ③+④ | 35 | 15 | 15 | 5 |
| 合計 | 103 | 40 | 51 | 12 |
| 取組順調率 | 66% | 63% | 71% | 58% |

$$\text{取組順調率} = (\text{①} + \text{②}) / (\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④})$$

- (注1) 取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類（P1参照）のうち、進捗が順調であるものは①と②、進捗が順調でないものは③と④が、それぞれ相当する。
- (注2) 全目標指標のうち①又は②が選択された割合（取組順調率）が66%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(3) 目標達成見通しの状況

- 「来街者の呼び込みによる活性化」「商業振興による活性化」のテーマに係る目標指標は、目標達成可能と見込んでいる^(注1) 指標の割合（目達見込率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「居住者の利便性向上による活性化」のテーマに係る目標指標の目達見込率は、全体平均よりも低い^(注2)。

目標達成見通しの状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマの①及び③の割合>

| 見通し | 全体 | a 居住者の利便性 向上による活性化 | b 来街者の呼び込 みによる活性化 | c 商業振興による 活性化 |
|-------|-----|--------------------------|-------------------------|---------------------|
| ①+③ | 90 | 33 | 45 | 12 |
| ②+④ | 13 | 7 | 6 | 0 |
| 合計 | 103 | 40 | 51 | 12 |
| 目達見込率 | 87% | 83% | 88% | 100% |

$$\text{目達見込率} = (\text{①} + \text{③}) / (\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④})$$

- (注1) 取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類（P1参照）のうち、目標達成可能と見込まれているものは①と③、目標達成可能と見込まれず、今後対策を必要としているものは②と④が、それぞれ相当する。
- (注2) 全目標指標のうち①及び③が選択された割合（目達見込率）が87%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「目達見込率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況

- 「商業振興による活性化」及び「居住者の利便性向上による活性化」のテーマに関する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均よりも高い（注1）。
- 一方で、「来街者の呼び込みによる活性化」のテーマに関する目標指標の基準値改善率は、全体平均よりも低い（注1）。
- 基準値改善率は全テーマとも50%を超えている一方、実績値がすでに目標値を達成している指標の割合（目標達成率）は、全テーマとも30%前後にとどまっている。

基準値からの改善状況及び目標達成状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマの改善状況及び目標達成状況>

| 改善状況 | 全体 | a 居住者の利便性 向上による活性化 | b 来街者の呼び込 みによる活性化 | c 商業振興による 活性化 |
|-----------|-----|--------------------------|-------------------------|---------------------|
| 基準値より改善 | 61 | 24 | 29 | 8 |
| （うち、目標達成） | 30 | 14 | 13 | 3 |
| 基準値より悪化 | 42 | 16 | 22 | 4 |
| 合計 | 103 | 40 | 51 | 12 |
| 基準値改善率 | 59% | 60% | 57% | 67% |
| 目標達成率 | 29% | 35% | 25% | 25% |

基準値改善率＝基準値より改善 / (基準値より改善＋基準値より悪化)

目標達成率＝基準値より改善した指標のうち目標値を上回るもの / (基準値より改善＋基準値より悪化)

(注1) 全目標指標のうち、実績値が基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）が59%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

IV. 具体的な取組みの状況（事例紹介）

①帯広市(北海道)【第2期：平成25年3月29日認定】

| | | | | | | | |
|--------------|---|-----|--------------------|---|--------------------|-----|--------------------|
| 計画期間 | 平成25年4月～平成30年3月 | | | | | | |
| 事業名 | 広小路アーケード空間を活用した集客・回遊・滞留事業 | | | | | | |
| 関連する 目標指標 | 歩行者通行量（平日） | 基準値 | 22,905人 （平成24年） | 実績値 | 24,997人 （平成25年） | 目標値 | 24,000人 （平成29年） |
| 取組概要 | <p>○広小路アーケードは、帯広市のなかでも最も歴史のある商店街、かつ、唯一全蓋アーケードであり、平成23年に第1期計画の事業として改修され、新たな装いとなった。</p> <p>○第2期計画では、「既存ストックの活用によるにぎわいの創出と魅力づくりにより、来街者、歩行者の増を図る」ことを目標に、広小路アーケードの空間を活用した、「七夕まつり」「帯広まちなか歩行者天国事業」「ハロウィン収穫祭」「市民の足型パネル事業」などの事業を展開した。なかでも、「帯広まちなか歩行者天国」は市民に定着しており、まちなかのにぎわい創出に大きな役割を果たしている。</p> <p>○アーケードの改修効果に加え、各種ソフト事業を展開したことにより、快適な買い物空間の演出やにぎわいの再生といった効果が生まれ、空き店舗の減少にも繋がっている。</p> | | | | | | |
| |  | | |  | | | |
| | ＜七夕祭り＞ | | | ＜帯広まちなか歩行者天国事業＞ | | | |

※詳細はこちら（帯広市HP）：<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shoukoukankoubu/sangyoumachi dukurika/d070301kihonkeikaku.html>

②長野市(長野県)【第2期：平成24年3月29日認定】

| | | | | | | | |
|--------------|---|-----|-----------------|--|-----------------|-----|-----------------|
| 計画期間 | 平成24年4月～平成29年3月 | | | | | | |
| 事業名 | 空き店舗等活用事業 | | | | | | |
| 関連する 目標指標 | 空き店舗数の減少 | 基準値 | 29件 （平成23年度） | 実績値 | 19件 （平成25年度） | 目標値 | 22件 （平成28年度） |
| 取組概要 | <p>○中心市街地の商店街の停滞状況の改善を図ることで、まちなかの回遊（快遊）性を確保し、魅力ある歩行者環境を充実させ、誰もが歩きたくなるまちを目標に空き店舗等活用事業を実施した。</p> <p>○空き店舗等を活用し、チャレンジショップやアンテナショップ、フリーマーケット、文化・芸術活動、観光客のおもてなしサロン等を整備する場合に、補助金による支援を行った。（平成24年度は3件、平成25年度は2件を支援）</p> <p>○併せて、情報発信拠点整備事業（空き店舗を活用して、まちの魅力や空き店舗情報を発信）を行ったことで、まちの魅力の再発見が新規出店に結び付き、権堂アーケード沿いの空き店舗の大幅な減少につながった。</p> | | | | | | |
| |  | | |  | | | |
| | ＜空き店舗等活用事業の支援を受けた店舗＞ | | | ＜情報発信拠点 権堂まちづくりセンター＞ | | | |

※詳細はこちら（長野市HP）：<http://www.city.nagano.nagano.jp/site/sougoukeikaku/51476.html>

③上山市(山形県)【平成24年11月30日認定】

| | | | | | | | |
|----------|--|-----|---------------------|--|---------------------|-----|---------------------|
| 計画期間 | 平成24年12月～平成29年3月 | | | | | | |
| 事業名 | 高齢者サロン設置社会実験事業 | | | | | | |
| 関連する目標指標 | まち中の交流施設年間利用者数 | 基準値 | 37,419人 (平成21年度) | 実績値 | 51,501人 (平成25年度) | 目標値 | 60,000人 (平成28年度) |
| 取組概要 | <p>○商業ビル内の空き店舗スペースを利用して、高齢者が趣味や活動、交流ができるサロンを整備することで、施設利用者数の増加のみならず、空き店舗の減少やビル内にある店舗への誘客チャンスを向上させる波及効果も期待できる取組みである。</p> <p>○平成23年から社会実験として高齢者サロンを設置し、「ひとり暮らし高齢者等実態把握調査」を踏まえ、高齢者の孤立予防、交流促進、介護予防、核家族化や高齢化の進展に対応した「支えあいのまちづくり」を推進に寄与している。(平成25年度実績：開所日数359日、利用者数16,969人)</p> | | | | | | |
| |  | | |  | | | |
| | ＜商業施設 カミン＞ | | | ＜高齢者サロン＞ | | | |

※詳細はこちら(上山市HP): <http://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/soshiki/9/tyukatu.html>

④金沢市(石川県)【第2期：平成24年3月29日認定】

| | | | | | | | |
|----------|--|-----|---|---|-----------------------|-----|------------------------------|
| 計画期間 | 平成24年4月～平成29年3月 | | | | | | |
| 事業名 | 自転車利用推進事業 | | | | | | |
| 関連する目標指標 | 公共レンタサイクル「まちなり」の利用回数 | 基準値 | — | 最新値 | 94,703回/年 (平成25年度) | 目標値 | 100,000回/年 (平成24～28年度の平均) |
| 取組概要 | <p>○城下町の歴史的構造を持つ中心市街地は、大規模な都市基盤整備は景観保全や事業実現性の観点からも厳しく、「過度に自動車に依存しない中心市街地」を目標として、市民の日常の移動手段として都市内交通の充実と、来街者のまちなか回遊性向上のための二次交通の充実を目的に、平成24年3月 公共レンタサイクル「まちなり」の本格運用を開始した。</p> <p>○まちなかの自転車通行空間の整備等を進めてきたこともあり、平成25年度の実績では目標値の約95%となった。</p> <p>○中心市街地の魅力創出に向けた取り組みや、平成27年3月の北陸新幹線金沢開業に伴う来街者の増加等による利用者の増加を踏まえ、目標値の達成が見込まれている。</p> <p>○公共レンタサイクル「まちなり」が中心市街地の活性化に効果をもたらしている。</p> | | | | | | |
| |  | | |  | | | |
| | ＜公共レンタサイクル「まちなり」ポート＞ | | | ＜「まちなり」による観光回遊＞ | | | |

※詳細はこちら(金沢市HP): http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11001/kasseika/index19_2.html

V. 取組の進捗状況及び目標達成見通しに関する各市からの報告

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

| 都道府県名 | 市町村名 | 目標 | 目標指標 | 目標達成の見通し |
|---------------|------|-----------------------------------|------------------------------------|----------------|
| 平成21年3月27日認定 | | | | |
| 静岡県 | 掛川市 | 様々な目的で人が集う賑わいのあるまち | 歩行者通行量 | ③ |
| | | 快適で便利に多くの人が住むまち | 居住人口 | ④ |
| | | 活発な商業・業務・サービス活動のあるまち | 営業店舗数 | ① |
| 滋賀県 | 守山市 | 子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できるまち | 中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数 | ① |
| | | 住民参加により地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しいまち | 歩行者・自転車通行量（平日） | ③ |
| 兵庫県 | 丹波市 | ストック活用による集客・交流機能の強化 | 歩行者・自転車通行量 | ③ |
| | | 官民協働によるまちなか居住の推進 | 中心市街地の人口 | ④ |
| 山形県 | 酒田市 | 中心商店街の活性化 | 歩行者・自転車通行量 | ③ |
| | | 街なか観光の推進 | 観光施設入込数 | ③ |
| | | 街なか居住の促進 | 居住人口 | ④ |
| 平成21年6月30日認定 | | | | |
| 埼玉県 | 川越市 | 回遊性の向上 | 歩行者・自転車通行量（休日） | ③ |
| | | | 歩行者・自転車通行量（平日） | ③ |
| | | | 滞在時間半日以上観光客割合 | ③ |
| | | 商業・サービス業の充実 | 卸売・小売業、飲食業、サービス業の事業所数 | H26フォローアップ実施予定 |
| 平成21年12月7日認定 | | | | |
| 静岡県 | 沼津市 | 交流人口の拡大 定住人口の確保 | 中心市街地の歩行者自転車通行量（日曜日） 中心市街地の居住人口 | ① ④ |
| 山口県 | 下関市 | 歩きたくなる、回遊したくなる街 | 休日歩行者等通行量 | ① |
| | | 多彩な魅力が備わり、ゆっくり訪れたい街 | 観光客入込客数 | ① |
| | | 愛着を持って、いきいきと暮らせる街 | 市民サービス施設利用者数 | ① |
| 平成22年3月23日認定 | | | | |
| 福島県 | 福島市 | 賑わいの創出 | 歩行者・自転車通行量 | ② |
| | | 快適居住の促進 | 居住人口 | ④ |
| 岡山県 | 倉敷市 | 倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる | 主要有料観光施設入場者数 | ② |
| | | 歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する | 歩行者・自転車通行量（休日） | ① |
| 平成22年11月30日認定 | | | | |
| 秋田県 | 大仙市 | 多くの人が訪れる医療・福祉機能等が充実したまちを目指す | 歩行者通行量 | ① |
| | | 多くの人が活き活きと交流・活動できるまちを目指す | まちなか交流施設の利用者数 | ① |
| 兵庫県 | 明石市 | 便利で暮らしやすいまち | 都市福利施設利用者数 | H26フォローアップ実施予定 |
| | | 一歩足を伸ばして楽しめるまち | 歩行者・自転車通行量 | ③ |
| 平成23年3月25日認定 | | | | |
| 北海道 | 北見市 | 都市機能の充実に よるにぎわい創出 | 週末歩行者通行量 | ③ |
| | | 居住環境の整備等によるまちなか居住の促進 | 居住人口 | ① |
| 北海道 | 旭川市 | 中心市街地に訪れる人を増やす | 歩行者通行量（平和通買物公園） | ① |
| | | 中心市街地に住む人の増加を図る | まちなか居住人口（中心商店街地区） | ① |
| | | 観光客の来街を促進する | 観光情報センター利用客数 | ① |
| 栃木県 | 日光市 | 歴史・自然資源等を活かした街づくりによる交流人口増 | 歩行者通行量（平日・休日の平均） | ③ |
| | | 誰もが安心して暮らすための生活サービス・生活環境の享受と商業活性化 | 小売年間販売額 | ③ |
| 京都府 | 福知山市 | 人・もの・情報が集まり、誰もが楽しく快適に暮らせるまち | 歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均） | ③ |
| | | まちなか観光による人々が集う賑わいあるまち | 観光・文化施設（7館）の入館者数 | ① |
| 平成23年6月29日認定 | | | | |
| 愛知県 | 東海市 | 街なか居住の推進～住みたくなるまちづくり～ | 中心市街地の居住人口の増加 | ① |
| | | 来街者の回遊性の拡大～訪れたくなるまちづくり～ | 歩行者・自転車通行量の増加 | ① |

| 都道府県名 | 市町村名 | 目標 | 目標指標 | 目標達成の見通し |
|---------------|------|---|-------------------------|----------------|
| 平成24年3月29日認定 | | | | |
| 青森県 | 青森市 | 街の楽しみづくり | 歩行者通行量 | ③ |
| | | 交流街づくり | 年間観光施設入込客数 | ① |
| | | 街ぐらし | 夜間人口 | ① |
| | | 商業の活性化 | 空き地・空き店舗率 | ① |
| 長野県 | 長野市 | 訪れたいまち | 善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量 | ③ |
| | | 住みたいまち | 長野市全体における中心市街地の人口割合 | ① |
| | | 歩きたいまち | 中心市街地（6地点）の歩行者・自転車通行量 | ③ |
| | | 参加したいまち | 空き店舗数の減少 | ① |
| 富山県 | 富山市 | 公共交通や自転車・徒歩の利便性の向上 | 路面電車市内線一日平均乗車人数 | ① |
| | | 富山らしさの発信と人の交流による賑わいの創出 | 中心商業地区の歩行者通行量（日曜日） | ① |
| | | 質の高いライフスタイルの実現 | 中心市街地の居住人口の社会増加 | ① |
| 石川県 | 金沢市 | 誰もが暮らしやすい中心市街地 | 中心市街地の人口の年間社会動態 | ① |
| | | にぎわいと交流が生まれる中心市街地 | 主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量 | ① |
| | | | 中心市街地の観光施設の利用者数 | ① |
| | | 過度に自動車に依存しない中心市街地 | 公共レンタサイクル「まちなり」の利用回数 | ① |
| 平成24年11月30日認定 | | | | |
| 山形県 | 上山市 | 市民及び観光客の回遊促進・商店街の利用促進による賑わいの創出 | 歩行者通行量（休日） | ② |
| | | 市民及び観光客の居場所づくり・市民活動の拡大による賑わいの創出 | まち中の交流施設利用者数 | ① |
| 平成25年3月29日認定 | | | | |
| 北海道 | 函館市 | 陸・空の交通拠点と観光拠点の回遊による賑わいの創出 | 中心市街地の年間観光入込客数 | H26フォローアップ実施予定 |
| | | 市民生活に密着した商店街と集客拠点の回遊による賑わいの創出 | 歩行者通行量 路面電車の乗降人員数 | ① ① |
| 神奈川県 | 小田原市 | 訪れたいまち・歩きたいまちづくり | 歩行者及び自転車通行者数 | ① |
| | | 住みたいまち・暮らしやすいまちづくり | 居住人口（中心市街地の定住人口） | ① |
| 岡山県 | 津山市 | 人が集い賑わいを感じる「まち」 | 歩行者自転車通行量（平日・休日の平均） | ① |
| | | 人が暮らしやすいと感じる「まち」 | 人口の年間社会動態平均 | ① |
| | | 歴史文化を感じる「まち」楽しむ「まち」 | 歴史文化関連施設利用者数 | ① |
| 山口県 | 周南市 | みんなが行きたくない、魅力あるモノやサービスが溢れるまち | 中心商店街等への新規出店数 | ③ |
| | | みんなが快適に過ごせる、歩きたいまち | 街なかの歩行者等通行量 | ④ |
| 北海道 | 帯広市 | 街なか居住の促進により、居住人口の増を図る | 街なか居住者数 | ① |
| | | 既存ストックの活用によるにぎわいの創出と魅力づくりにより、来街者、歩行者の増を図る | 歩行者通行量（平日） | ① |
| 青森県 | 八戸市 | 来街者を増やす | 歩行者通行量 | ① |
| | | 定住を促進する | 居住人口割合 | ① |
| | | 空き床を解消する | 空き店舗・空き地率 | ① |
| 福井県 | 大野市 | まちなか観光による交流人口の増加 | 関連施設の年間入込客数（中心市街地主要4施設） | ① |
| | | 商店街を中心としたまちなか生活の充実 | 一日当たりの歩行者通行量（休日）春・秋の合計値 | ① |
| | | 豊かな暮らしを支える公共交通の実現 | まちなか循環バス、乗合タクシー利用者数 | ② |
| 静岡県 | 藤枝市 | 人々が活発に活動・交流しにぎわうまち | 歩行者通行量 | ③ |
| | | 志太榛原地域の核となるまち | 従業者数 | ③ |
| | | 安全・安心に生活が完結し持続するまち | 居住人口 | ③ |
| 愛知県 | 豊田市 | 平日歩行者通行量 | 平日歩行者通行量 | ① |
| | | 休日歩行者通行量 | 休日歩行者通行量 | ① |
| | | 居住人口 | 居住人口 | ① |
| 滋賀県 | 大津市 | 駅・港を結ぶ動線リニューアルによるにぎわい創出 | 休日の歩行者・自転車通行量 | ③ |
| | | 町家等の活用による複合都市機能の充実 | 商店街における新規商業店舗数 | ① |
| | | 琵琶湖岸・港における集客・交流機能の強化 | 琵琶湖観光客入込数 | H26フォローアップ実施予定 |

| 都道府県名 | 市町村名 | 目標 | 目標指標 | 目標達成の見通し |
|----------------|-------------|-------------------------------|-------------------------|----------------|
| 鳥取県 | 鳥取市 | 街なか居住の推進 | 中心市街地の居住人口（社会増減数） | ① |
| | | 賑わいの創出 | 主要10地点歩行者・自転車通行量（平日） | ① |
| | | | 主要10地点歩行者・自転車通行量（休日） | ① |
| | | | 新規開業数 | ① |
| 島根県 | 松江市 | 観光・交流 | 中心市街地内の宿泊客数 | ① |
| | | 近隣集客拠点 | 中心市街地の定時ガイドコース参加者数 | ① |
| | | | 通行量（平日・休日の合計） | ③ |
| | | | 商店街空店舗数 | ① |
| まちなか居住 | 中心市街地内の社会増減 | ① | | |
| 広島県 | 府中市 | 賑わいの創出 | 歩行者・自転車通行量（平日） | ③ |
| | | | 歩行者・自転車通行量（休日） | ① |
| | | | 府中ぐるっとバス平均利用者数 | ① |
| | | 歩いて暮らせる地域の形成 | 商業重点地区の商店数 | ③ |
| 人口動態（社会動態） | ① | | | |
| 大分県 | 大分市 | 激変する商業環境へのエリアマネジメントによる経営戦略の構築 | 小売業年間商品販売額 | H26フォローアップ実施予定 |
| | | 変化するまちと既存ストックの連続性による魅力の向上 | 歩行者通行量 | ① |
| | | コミュニティ連携による新たな賑わいのスキーム構築 | まちなか滞留時間 | ① |
| 鹿児島県 | 鹿児島市 | 街なかのにぎわい創出と回遊性の向上 | 歩行者通行量（30地点、土日） | ③ |
| | | 都市型観光の振興 | 中心市街地の年間入込観光客数 | H26フォローアップ実施予定 |
| | | 商業・業務機能の集積促進 | 第三次産業の従業者数 | H27フォローアップ実施予定 |
| 平成25年6月28日認定 | | | | |
| 香川県 | 高松市 | 商店街独自の魅力あるサービスを創出する | 中央商店街の空き店舗率（全フロア） | ③ |
| | | まちのあちこちで歩いている人を増やす | 中央商店街における歩行者通行量（休日） | ③ |
| | | 中心市街地に、より住みやすい環境をつくる | 市全体の人口に対する中心市街地の居住人口の割合 | ② |
| 平成25年11月29日認定 | | | | |
| 岩手県 | 盛岡市 | 賑わいあふれる中心市街地 | 中心市街地の歩行者・自転車通行量 | ② |
| | | | 大通コアエリア周辺の居住人口 | ② |
| | | 訪れたい中心市街地 | 盛岡市街の宿泊観光客数 | ① |
| もりおか歴史文化館の入館者数 | ③ | | | |